

## スポーツツーリズムについて

### 1 スポーツツーリズムとは（※スポーツ庁 HP 抜粋）

スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツが融合した観光を楽しむツーリズムスタイルです。

### 2 横浜市内での事例

#### （1）スポーツへの参加

##### ア 横浜マラソン（2019 年度実績）

28,000 人の募集枠に 5 万人を超える申し込みがあり、ランナーに人気の大会となっています。沿道観戦者も多く、毎年多数の人が横浜を訪れる機会を創出しています。

##### <大会概要>

主催	横浜マラソン組織委員会
日程	2019 年 11 月 10 日
参加者数	27,992 人
沿道観戦者数	約 688,000 人



##### <ツアーパッケージ>

基本内容	フルマラソン出走権＋ホテル 1 泊
費用	15,000 円＋宿泊代
利用者数	50 人（募集人数 50 人）

##### イ ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会（2019 年度実績）

2009 年に横浜開港 150 周年記念事業として始まり、2019 年で 10 回目を迎えました。各国の代表選手が世界を転戦し年間チャンピオンを決定するシリーズ戦の一つであるエリート部門と、一般の方が参加するエイジ部門を開催しています。

##### <大会概要>

主催	世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会
日程	2019 年 5 月 16、17 日
参加者数	1,700 人（エリート 163 人 エイジ 1,537 人）
沿道観戦者数	約 465,000 人



##### <ツアーパッケージ>

基本内容	エイジ部門エントリー権＋ホテル 1 泊
費用	29,200 円＋宿泊代
利用者数	100 人（募集人数 100 人）

## ウ 武道体験 ～ 空手（板割り体験）～

空手の稽古後、願いを書いた板を実際に割ってみる体験教室です。

主催	横浜武道館
会場	横浜武道館 武道場
参加者数	30人（2021年2～7月、8回）
費用	3,300円（試割り板追加：500円/枚）



## (2) スポーツの観戦

### ア ラグビーワールドカップ2019™

ワールドラグビーの主催によりアジアで初めて開催され、チケット完売率は99%（約172万枚）と、ラグビーワールドカップ史上最高記録となりました。全国12都市で45試合（中止を除く）が実施されました。

<横浜での試合>

日程	2019年9月21日～11月2日（うち6日間）
会場	横浜国際総合競技場
観客動員数	401,742人



<観戦客に対する取組>

(ア) ファンゾーン

主催	横浜市
日程	2019年9月20日～11月2日（うち13日間）
会場	臨港パーク
コンテンツ	パブリックビューイング、ステージイベント、ケータリング等
来場者数	約153,700人



(イ) 片道シャトルバス

試合終了後、中華街・野毛に向かう無料シャトルバスを運行。

主催	横浜市
乗車定員	45人/便（先着順）
便数	4～10便/日



<経済波及効果>

(単位：億円)

	総額	切符整備・大会運営費	宿泊	飲食	娯楽等+バス	交通	買物
横浜市	361	170.7	25.8	21.8	20.9	7.2	0.9
東京都	1,757	449.9	293.1	172.2	152.1	45.3	9.0

(引用元：ラグビーワールドカップ2019™日本大会開催後経済効果分析レポート)

### <ラグビーワールドカップとスポーツホスピタリティ>

ラグビーワールドカップの公式旅行会社である STH JAPAN 株式会社が、観戦と、試合前後の特別な料理や著名な元ラグビー選手によるトークショーなどの「スポーツホスピタリティ」をセットにしたツアーを提供しました。



1 試合あたり最大 1,500 名のゲストに対応するため、オープンレストランスペースや 18 の個室スイートを有する会場が、横浜国際総合競技場に隣接して設置されました。

### イ プロスポーツ観戦

横浜にはプロスポーツチームが数多くあり、毎年市内で多くの試合が開催されています。プロ野球、Jリーグ及びBリーグの合計で年間 293 万人を超える観客に会場いただくなど、スポーツツーリズムの大きな資源となっています。

市としても、プロスポーツチームとの連携体制である横浜スポーツパートナーズの取組により、市及び各チーム間の連携・協働を推進しています。

### <観客動員数（2019 年度実績）>

	試合会場	期間	試合数	観客動員数
プロ野球	横浜スタジアム	3～10月	72 試合	225.9 万人
Jリーグ	日産スタジアム	3～12月	12 試合	39.5 万人
	ニッパツ三ツ沢球技場	3～11月	29 試合	22.7 万人
Bリーグ	横浜国際プール	10～2月	17 試合	5.3 万人
	横浜武道館	※2020 年度開館のため 2019 年度実績なし		